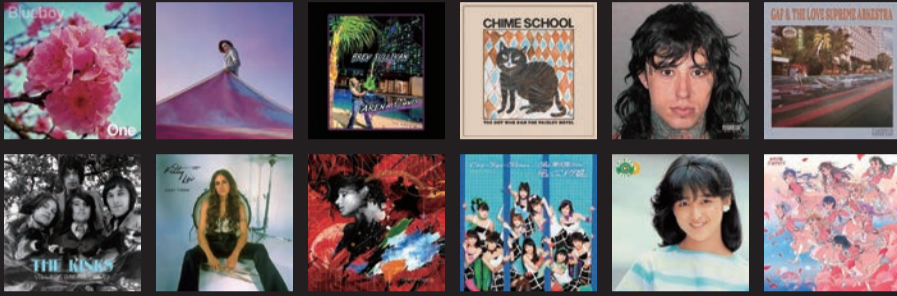


オールジャンル新品イチオシ情報!

ユニ通

VOL.5



どうした日本の夏・・・と言わんばかりの猛暑、加えて地震、雷、ゲリラ豪雨に台風。自然の猛威に直面しつつも、音楽の力が心の支えとなった方も多いことでしょう。フジロックをはじめとするフェスシーズンが終わった今、次に楽しむのは秋の音楽。今回の「ユニ通」では、ロック、メタル、J-POP、アニソンなどを中心におすすめアルバムをセレクト。少し円高の影響で、お得な価格での提供も実現しました! QRコードから詳細をチェックして、音楽の秋を楽しんでください!



配送料 ¥0
好きなお店で買える!

ディスクユニオンメンバーズ限定
店舗受取サービス

詳細はこちら!



CHICO BERNARDES
OUTROS FIOS

前作のギター中心のフォークアルバムからピアノ/シンセ/管弦楽器が加わり、より厚みのある本作。兄であるTIM BERNARDESと同様にフォーキーでありながら繊細で、ポルトガル語の響きが心地よいです。ZE IBARRAとも近しい音楽性を感じます。不足がなく繊細な音のハーモニーに彼の声为重なり、1曲目の歌いだしから胸打たれました。若くして才能の開花が見れる作品の数々から今後も非常に期待を寄せています。
<お茶の水駅前店:田村>

LP
ROCINANTE / R3033



2299991448945



CHIME SCHOOL
THE BOY WHO RAN THE PAISLEY HOTEL

脳内に染みわたる"あの頃"のネオアコサウンドを奏でるCHIME SCHOOL待望の2ND。僕はネオアコ好きと言いつつ結局のところEAST VILLAGEの面影を追い続けているだけの人間なのですが、このバンドにはそれがあつた。きらまふしいアルペジオ、切な目メロディを低音で歌う感じはまさに'90年前後のギターポップ!現行ネオアコ好きにはお馴染みSLUMBERLANDから。
<町田店:中本>

LP
SLUMBERLAND / LPSLR287C



0749846128713



COLD GAWD
I'LL DROWN ON THIS EARTH

Rancho Cucamongaが拠点のCOLD GAWDがDAISからリリースする2nd。硬質で重たい轟音が鳴り響くなかで、透明感のある音色で奏でるギターのリフレインや、淡い歌声と叫び声、さらにタンバリンなどそれぞれが際立ち、リード・シングル“All My Life, My Heart Has Yearned For A Thing I Cannot Name”にもある、名付けられないものや憧憬を鮮やかに表現する。
<柏店:荒井>

LP
DAIS RECORDS / DAIS230LPC1



068395057888



CRANES
OLLECTED WORK VOL 1

みんな4ADが好きならクレインズのこともっと持て離してほしい(彼らは4ADではないけど聞わりは深い)ロリポップな声に挟るようなノイズ。この落差よ。キュートだからカッコイイ!昏いから眩い!怖いから爽快!当BOXでは重機の如く危険でインダストリアルな初期〜ジブリ主題歌的パレードまで歌えるようになった円熟期へのバンド変遷、うねりが感じられます!BOXって高いけど出したお金の分アーティストと向き合える。向き合う価値がめっちゃあるバンドです!
<お茶の水駅前店:大島>

CD BOX
CHERRY RED / CRCRD6BOX170



5013929117099



BLUEBOY
ONE

BLUEBOYが26年の時を経て新曲を発表することを知り、衝撃が走った。今は亡きボーカルのKeith Girdlerは多くのネオアコバンドの中でもよりクラシカルで芯のある作品を残した唯一無二の存在。そんな彼が不在でのバンド再結成。ドキドキしながら盤に針を落とすと、哀愁を帯びたPaul Stewartのギターと、まるでKeithの魂が宿ったかのようなGemma Townleyの歌声。新鮮でありながら切なく心に沁み渡った。
<お茶の水駅前店:山本>

7"
PRECIOUS RECORDINGS / PRENEW1



5060853703959



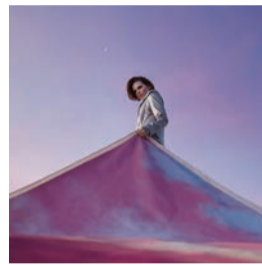
BREV SULLIVAN
ARENA SUMMER

フロリダを拠点とするギタリストの2枚目の作品。普段はジャンルに捕らわれず様々なアーティストのサポートを務めるなど技巧派のギタリストですが、彼自身が見た目も感性も80年代にとっぴりどっぴり浸かったハードロック/メタル系のアーティスト。自主制作で制作され本人より入荷いたしました。本作はそんな彼の趣味全開、"栄光の80'S"な空気満載の歌入りハードロック/ギター・インストが詰め込まれたあの頃の音が好きであれば思わず笑みがこぼれる内容となっています。
<メタル担当:渡>

CD-R
BREV SULLIVAN / 0195269310042



0195269310042



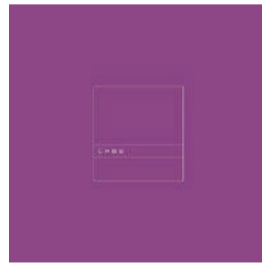
CASSANDRA JENKINS
MY LIGHT MY DESTROYER

世界的なバンデミックの最中、「フォークの新潮流」以降に開花した静謐な"アンビエント・フォーク"という音楽性が時代の流れと完全に調和したのも大きく2021年にリリースされた前作は繰り返し何度も聴きました。今作はあれから3年の月日を経てAdrienne LenkerやJessica Prattに続き届けられた新たなフォークの傑作です。開放的な空気が僅かにですが増えているように感じられ愛聴しております。
<ROCK in TOKYO:鎌田>

LP
DEAD OCEANS / DOC346LPC1



0656605164632



CHBB
CHBB

僕は麦打ち唄とかの民謡にポストパンクを感じる方の人間なのですが、CHBBにはどこか民謡を感じます。インダストリアル手前の第一次産業的ビートの上に低体温の日常会話のように放たれるドイツ語訛り。DAFの頭でっかちオスマッチョ感やMania D.のおとぼけやさぐれメス感覚よりもシンプルに力の抜けた素の肉体的で紡がれるCHとBBの危険な関係、Liaisons Dangereuses以前の驚愕素乱発掘仕事。
<お茶の水駅前店:斎藤>

LP
SOUL SHERIFF / SSLP07



7640153361462



FALLING IN REVERSE
POPULAR MONSTER

絶対に飽きさせない!そんな攻撃性を感じる今作。ポスト・ハードコアのメロディアスさにカントリーやヒップホップなど、さまざまなジャンルから要素を取り込んでいる。かつ複雑ながらもブレイクダウンが爽快なキラチューンに仕上がっている。そんな面白いことをしているのにも関わらずズレイにまとまっいて、その器用さとセンスに脱帽。噛めば噛むほど魅力が溢れてくる、進化を続けたFalling In Reverseならではの"異次元メタル"である。
<お茶の水駅前店:志水>

CD
SILENT TRADE / STCD0014



4571524910169



GAF & THE LOVE SUPREME
ARKESTRA GANZFELD

7月6日に開催されたFRUE ZINHOでMulatu Astatukeを目撃し、圧倒され、しばらく余韻で立ち上がれませんでした。そんな彼を彷彿とさせる演奏を繰り広げるスペイン・カナリア諸島を拠点に活動する8人組アヴァン・ジャズバンド。湿度高め熱帯密林ジャム、エチオ・ジャズ風味の妖艶なサイケデリア、瞑想的なスピリチュアル・ジャズ。あの夜の熱狂を思い出そうと聴いていたら彼らに夢になっていました。
<お茶の水駅前店:越川>

LP
KEROXEN / KRXN039



5065004291521



HONOUR
ALAAFIA

ナイジェリアにルーツを持つシカゴ出身の謎多きプロデューサーが、独先鋭エレクトロニック・レーベルPANから2023年にリリースした1stフルが目出度くLP化。ダークなノイズ/ドローン、ひび割れたヒップホップ・ビート、憂鬱のアンビエント、スクラップされたサンプル...さまざまなテクスチャーを大胆にコラージュした、安易なカテゴライズを許さない破格のデビュー作だ。これをABLETONの無料体験版で作上げたというのがまた涙くましい。
<新宿インディ・オルタナティブロック館:小川>

LP
PAN / PAN121LPC1



0756029613362



JOHNNY BLUE SKIES
PASSAGE DU DESIR

アルバム5枚で引退を公言していたSturgill Simpsonによる別名義のデビュー作。壮大なストリングス・アレンジとベダル・スティールによる王道カントリー・サウンドがベースですが、そんな中にもコズミックな要素やサザンソウル、ファンキーなヨット・ロックに至るまでバラエティの豊かさもあります。ビヨンセもカントリーを作る2024年のベスト・カントリー・アルバム候補筆頭ではないでしょうか。
<新宿ロックCDストア:田中>

CD
HIGH TOP MOUNTAIN / HTPM83533A1



0691835883434





KINKS VILLAGE GREEN LIVE 68 EP



最近KINKSを聴いて好きになったというお客様がいました。ようこそ深い沼へ！私が一番好きなアルバムがヴィレッジ・グリーンだ。そのプロモーション用に出演した番組の音源がこうしてレコード化された。正直、なぜこの曲？って気持ちはあるが、そこはひねくれ者たちと云われる所以か。

<お茶の水駅前店:中野>

7"
1960's RECORDS / REP057



KITTY LIV EASY TIGER



違いの競り合いがバンドの魅力なら、1人バンドの魅力は、同じの噛み合いだと思います。その人の持っている揺らぎは各楽器の演奏でくり返し塗り重ねられ、心地よく揺れるのに縦はそろって聞こえる。まるで頑丈な合板です。このアルバムでも、グルーヴィなのに無努力で正確な、そんな矛盾な魅力が楽しめます。アナログ感ある分厚く明るい音もチャーム。生楽器とソウルフルな歌声、素材の良さが際立つポップでシックな新譜です！

<お茶の水駅前店:深野>

CD
P-VINE / PCD25402



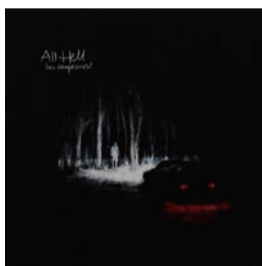
LINDA CARRIERE LINDA CARRIERE



大事件級のリリースです。ロサンゼルスR&B名グループDYNASTYのボーカリスト、幻のデビューアルバム。ティンパンアレーとその周辺という豪華絢爛の面々による楽曲は、77年にレコーディングされるもお蔵入り...。47年の時を経て正式リリースされた今作、スムーズなソウル/ジャズからブギー、シティポップ、トロピカル期の細野氏を感じさせ、お蔵入りになったのが甚だ信じ難い内容です。ジャケットがテストプレス盤そのままというも幻感を際立たせます。

<物流担当:稲垣>

CD
SONY MUSIC LABELS INC. / MHCL3092



LOS CAMPESINOS! ALL HELL



2008年、炎天下のサマーソニックのマリンステージ。顔を真っ赤にして歌うギャレスト、手を真っ赤にしてクラブする僕。あの日からバンドも僕も一緒にいるメンバーは変わったし、退屈や悲しみに暮れる日もあったけど、16年後の今日もロスキャンの新曲が聴けるのって最高ですね。世の中の色んな事に対する思いが音楽というフィルターを通して昇華されていく様にMAGICを感じる、そんなバンドの2024年最新モード。

<名古屋店:前田>

LP
HEART SWELLS / HS004LP



THREE QUARTER SKIES FADE IN



今年3月のスロウダイヴ来日を見てやっぱシューゲイザー最高だ...泣となっていた所に、このリリースです。しかも実質フライング・ソーサー・アタックとの作品ってポスト・ロックLOVERすら巻き込む荒業。「シューゲイザー・フォーク」なる音を目指した内容は、もう凄まじいセンスの上で成り立っているんだな！と変な納得をしました。爽やかと心の奥を抉るような展開の2本立ては、全インディ・ロック大好き子を圧倒するはず！内容をそのままジャケットにした感じもまた良き。

<ロック担当:松坂>

LP
SONIC CATHEDRAL / SCR240LP



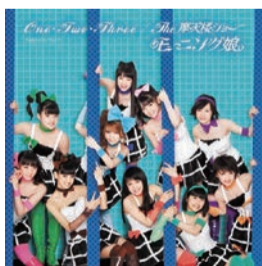
ブラッド・スウェット&ティアーズに 何が起きたのか? (全国共通特別鑑賞券)



あの人は今?というネタは、日本だけでなく古今東西で人気コンテンツのようですが、あの『アビイ・ロード』を押しつけてグラミー賞に輝いたブラッド・スウェット&ティアーズが、半世紀後に映画になって再登場するなど誰が想像していたでしょうか!? 巷では内輪揉めで消えていったという説が有力になっているようですが、いやいや、映画を見ればアメリカにはこんな陰謀がうごめいているのかとビビります...。BS&Tファンでなくても、アメリカンロック史として興味深いです。

<DIW担当:坂本>

TICKET
SOMETHIN' COOL / SCMV4T



モーニング娘。 ONE・TWO・THREE / The 摩天楼ショー



カラフル期の幕開けを飾ったエポックメイキングな両A面シングルがまさかの7インチ化(B面が生まれてしまった)。カラフル期のシグネチャーであるEDMテイストの代表曲「One・Two・Three」に注目が集まるが、つくみみのディスコファンク路線(いわゆる赤羽橋ファンク。事務所移転以降は五反田ファンクとも呼ばれる)の結晶とも言える「The 摩天楼ショー」がレコード化されたことが何よりも嬉しい。全肯定の詩が雪崩れるサビの高揚感に思わず涙腺が緩む。

<ラテン担当:鈴木>

7"
TOWER RECORDS LABEL / RECOTA1009



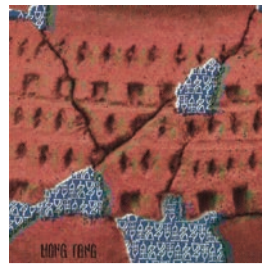
光田康典、土屋俊輔 TVアニメ「ダンジョン飯」O.S.T.



魔物を調理し、おいしくいただきながらダンジョンを攻略していくという、ありそうでなかった設定で大ヒットした、九井諒子原作アニメのサウンドトラック。アニメ・ゲームを中心に幅広く活躍する、プロキオン・スタジオの光田康典、土屋俊輔両名による劇伴は、クラシック、映画音楽、民族音楽、古楽の要素がふんだんに詰め込まれミックスされた、中世ファンタジー作品の王道を征くらしさ溢れる仕上がりとなっています。

<アニソン・ゲームミュージックストア:木村>

CD
KADOKAWA / ZMCZ16882



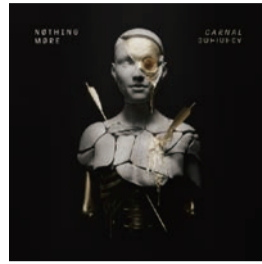
MONG TONG EPIGRAPHY / 銘



デビュー時からナードな気質をぶぶん漂わせていた台湾の兄弟デュオ、モン・トン。いままで幾何学模様でおなじみのグルグルブレイン所属だった彼らがニューヨークのレーベルから新作をドロップ。いまから500年後...未来人の視線から描かれるサウンド・スケープは彼らをオーバグラウンドなテイストへと進化させた模様。スタイリッシュさを感じるサウンドとは裏腹に、公開されたMVはかの輪廻転生アドベンチャー・ゲーム「東脳」を彷彿とさせる仕上がり。

<ロック担当:池部>

LP
NO-GOLD / NG009



NOTHING MORE CARNAL



インディーズのデビュー作からは20年。過去には国内盤も出て、来日経験もあるUSテキサス州のバンドですが、今もっと人気が出て欲しいので推します。ゲスト参加しているDISTURBEDのDavid Draimanに通じる変幻自在のボーカルと、多様なヘヴィサウンドと、米オタナハードロックとしての歌メロの良さが詰まっています。いかつさと爽やかさのギャップに萌えつつ、アルバムとして聴きやすい流れに、安定した実力を感じます。

<お茶の水ハードロック/ヘヴィメタル館:山本>

CD
BETTER NOISE / BTNO6902



OLAV STEDJE TREDJE STEDJE



ノルウェーのAORシンガーによる82年発表作。北欧AORバンドの代表的存在であるLAVAが演奏に参加している作品なのだから、さぞかしソウルフルでクールな内容に違いないと思いきや、意外にもライトで夏にぴったりの爽やかな仕上がりでした。ほんとに北欧産?と疑いたくなるほど、アメリカ西海岸の空気感をたっぷり含んだ一枚です。AIRPLAYオマージュなジャケットも良いですね。なんならギターサウンドもジェイ・グレイドに寄せてるような...

<大阪店:保田>

CD
NORSKE ALBUMKLASSIKERE / NACD145



TEARS OF TRAGEDY WONDER ARTS



過去の作品を超える良い新譜を作り続けることはアーティストにとって永遠の課題だと思うが、このバンドは毎回期待以上の作品を作り上げ、驚かせてくれる。本作もまたファンが求める期待通りの作品であり、過去一の出来栄えと言っても過言ではない。冒頭を飾るタイトル曲「Wonder Arts」を筆頭に透明感と疾走感に溢れた美メロチューンがこれでもかと繰り出され、とにかくアグレッシブに攻めた作品。2024年、灼熱の夏に一服の清涼剤を与えてくれる佳作。

<メタル担当:西>

CD
Walküre Records / WLKR93



山中明 レコードジャンキー 富和



漫画界史上初! 現役レコードバイヤーが己の手で描き上げた、全宇宙で最もレコードに偏った漫画単行本が爆誕! レコードの取り扱い方法からオリジナル盤の見分け方、はたまたはじめてにピッタリなレコードプレーヤーの選び方まで、「レコードA to Z」が深〜くわかつちゃうマンガになっているづらよ! 三度の飯よりレコードが好きなみなさん(みんなそうづらよね!?).....ぜひ一読お願いしますづら〜!(富和より)

<新宿ロックレコードストア:山中>

BOOK
DU BOOKS / DUBK382



吹田明日香 ゴールデン☆ベスト 吹田明日香



ついに、伝説の80年代アイドル・吹田明日香のゴールデン☆ベストが発売! 待ちました! 来生えつこと来生たかおの姉弟コンビによる1stシングル「バ・ケー・ション」が、女性アイドル史に残る名曲のひとつだと思っているのは私だけではないはず。マドンナのカバー「ライク・ア・ヴァージン」も必聴です! リリース作品全曲収録というだけで最高なのに、初音源化となるカラオケも3曲収録という豪華さ! 嬉しすぎます!

<昭和歌謡館:小林>

CD
WARNER MUSIC JAPAN / WPCL-20008



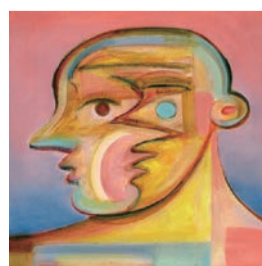
蓮ノ空女学院スクールアイドルクラブ BLOOM THE SMILE. BLOOM THE DREAM!



104期9人体制となつての3rdシングル。様々な物語を経てよりメンバー達の一体感が増し強力に。日々花咲こうともかく少女達が躍きながらも前へと進もうとする歌詞。後輩を支える2年生の先輩達の力強さ、それに追いつこうと努力する1年生の後輩達、それを温かく見守る3年生生達。彼女たちの輝きと眩しさと儂さを纏った2曲は新たな未来を予感させます。102期生3人の卒業を薄っすらと感じさせる哀愁ある雰囲気も良いです。リンクラのアプリも要チェックです!

<新宿ヘヴィメタル館:関口>

CD
バンダイナムコミュージックライブ / LACM-24571



路地 わかりあえないことから



ちょうど昨日、ラジオを聴いていた時流れてきた『プレミアム』に一聴き惚れをし、そのままアルバムを購入したため紹介させていただきます。多摩田園都市を拠点に活動をする「路地」はこれまでに3枚のフルアルバムをリリースしており、今回は約2年ぶりとなる4枚目のアルバム。様々なジャンルの日本ポップスを独自に解釈し、それを路地ならではの「音」にした楽曲の数々。いずれ「名盤」と言われるものになるのではないかと思います。

<日本のロック・インディーズ担当:四元>

CD
P-VINE / PCD25409

